

## 第2回 合同研修会

日時 6月3日16:30～

場所 朝日小 会議室

参加者 朝日小 中山校長 玉井教頭 北島 米澤 櫻井

大有小 高橋

新町小 菅野

青雲小 貝谷

永山西小 須賀

### 内容

(1) 本会の名称を決める

「ALPS」(アルプス)～Active Learnig Project Staff

(2) 前回の研修会の確認～別紙

(3) 「主体的」な学び、「協働的」な学びとするための指導の工夫について

- 『1 子どもの「主体的」な学びとするために』については協議を行い、共通理解を図ることができましたが、『2 子どもの「協働的」な学びとするために』については協議の時間が十分確保できなかったため、皆さんの意見を櫻井の方でまとめさせていただきました。

#### 1 子どもの「主体的」な学びとするために

##### ①教師がしなければならないこと

- ・指導事項の明確化
- ・教師の本質に迫る学び
- ・子どもが楽しさを感じる学びづくり
- ・明確な目標や目的の設定
- ・子どもの実態把握
- ・課題の明確化
- ・指導計画の吟味～内容と時数の把握
- ・意欲を引き出す課題，動機付け
- ・教えないで考えさせる
- ・教えて，考えさせる
- ・学習場面に「考えさせる」場面を設定
- ・途中の振り返り～自分の考えを修正する
- ・「待つ」姿勢
- ・指導から活用へ
- ・自己決定の場面をつくる
- ・本物に触れさせる
- ・「話す」「聞く」「話し合う」スキルを身に付けさせる

##### ②教師ができること

- ・適切な評価と賞賛
- ・具体的で価値のある活動や体験の吟味
- ・個別の支援
- ・学習環境の整備
- ・思考の見える化～「思考ツール」の指導

③教師がしてはいけないこと

- ・子ども任せ
- ・管理し続ける
- ・思考させず模倣させる活動
- ・教師の説明時間が長い
- ・「教える」という意識が強い
- ・教科書通りに進める
- ・動機付けのない課題提示

**★子どもの「主体的」な学びとするために**

**教師がしなければならないこと・できること**

- 教科、指導内容の本質をとらえる～教師自身が常に新鮮な気持ちで向かい、学習内容について感動をもつ
- 指導事項の明確化
  - 「何を」身に付けさせるか
  - 指導計画，時間配分，活動や体験の吟味
- 実態把握
- 「教える」「考えさせる」のバランス
  - 「教えて，考えさせる」⇔「教えないで，気付かせる」
- 「考えさせる」場面を意図的につくる
- 途中の振り返り場面設定
  - 適切な評価と賞賛，子ども自身が自覚
- 自己決定，意思決定の場面設定
- 一人一人が自ら活動する学習場面
  - 個別の支援

**教師がしてはいけないこと**

- 管理し続ける
  - 教え続ける
- 子ども任せ

2 子どもの「協働的」な学びとするために

①教師がしなければならないこと

- ・支持的風土づくり（学級経営）
- ・話し合い活動（交流場面）の時間確保
- ・振り返り，次への活動を思考させる時間確保
- ・目標の共有
- ・教師の意識改革→「待つ」
- ・交流場面を授業の中に位置付ける
- ・「話す」「聞く」「話し合うスキル」を身に付けさせる＝話し合いの土台をつくる
- ・適切な思考ツールを身に付けさせる
- ・多様な追究が仕組まれている発問
- ・自分にはない新たな気付きや課題，考えをもたせる
- ・自分ごととして参加できる学び合いをつくる

- ・目的に応じた学習形態→ペア，グループ，全体を使い分ける
- ・集団のチーム化

## ②教師ができること

- ・教師の立ち位置を考える（対話，つなぐ）→価値付ける
- ・協働の意味づけ
- ・「何を」協働的にするのか明らかにする。
- ・情報交流の必要性
- ・グループの構成を工夫する

## ③してはいけないこと

- ・競争原理の指導
- ・必要感のない協働的な学び合いをさせること
- ・形式や形態にこだわりすぎる
- ・困ったら多数決やジャンケンで決めること

### ★子どもの「協働的」な学びとするために

#### 教師がしなければならないこと・できること

- 支持的風土づくり（学級経営）
  - グループ構成の工夫
- 教師の意識改革
  - 教師の姿勢，技能～「待つ」「つなぐ」など
  - 時間の確保～一単位時間，指導計画の見直し
- 協働的な学びの価値付け
  - 協働的な学びの必要性を明らかにする
  - 交流場面を授業の中に位置付ける
    - ・学び合いの活性化～自分ごととして参加できる
    - ・発問の質を向上させる→「子どもの問い，思考が連続する」「多様な追究方法ができる」
    - ・適切な学習形態（ペア，グループ，全体）
    - ・「話す」「聞く」「話し合う」などの基本的なスキルの習得

#### 教師がしてはいけないこと

- 競争原理の指導
- 目的のない（必要のない）話し合い，協働的な学び
- 形式や形態にこだわりすぎる

\*以上のことから教師の指導観の変革や生徒指導の機能を生かすことが大切であることがわかった。

○次回（7月8日）までの宿題です。～3日の資料に添付

『3 アクティブ・ラーニングの基本的な指導法（1単位時間の学習課程）は？』

『4 アクティブ・ラーニングの基本的な指導法（単元の指導計画）は？』

『5アクティブ・ラーニングを実施する際の環境整備』～夢物語で構わないので、「こういうのがあったら」「こういう環境を整えば」ということを考えてください。

〈連絡〉 7月8日（水）に朝日小で授業研を行います。時間については後日連絡いたしますので授業参観，研究討議への参加のほどよろしくお願いいたします。